

# わたくしたちの健康

## 流行性角結膜炎について

朝霞地区医師会 中島 秀登

☎464-4666

### 流行性角結膜炎とは…

流行性角結膜炎は、特定のウイルスの感染によって起こる大変感染力の強い結膜炎で、短期間に集団的に発生することがあるため、俗に「はやり目」と言われます。

普通の結膜炎と違って、あとで黒目（角膜）ににごりが出て視力を悪くすることがありますので、注意しなくてはなりません。

### 症状

流行性角結膜炎を発症すると、白目が赤くなったり（充血）、目やにや涙が増え、ゴロゴロ感、しょぼしょぼ感、まぶしさなどの症状が現れます。症状がひどくなると、まぶたの腫れ、出血、耳の前のリンパ腺（耳前リンパ節）の腫れ、発熱などが起こることもあります。感染するウイルスの種類によっては、これらの症状が軽くて見過ごしてしまうことがありますので、強い症状が出た時はもちろんのこと、軽い症状でも、できるだけ早く眼科医の診断・治療を受けるようにしましょう。

### 治療法

この病気に有効なお薬はありません。ウイルスに対する抵抗力をつけるため、休養を十分にとり、体力を落とさないことが大切です。

また、他の感染を起こさないための抗菌点眼薬や、炎症を軽減するためのステロイド点眼薬などを補助的に使用することが一般的です。

### 感染の予防

流行性角結膜炎は、患者さんの目から分泌されたウイルスを含んだ目やにや涙などが、他の人の目に触れることで伝染します。ご家族や友人の方にうつさないために、以下のような点に注意して下さい。

- ・手指は石鹸をつけて水道水でよく洗い、消毒用アルコールで消毒して下さい。
- ・タオルや洗面器は他のご家族とは別にしましょう。
- ・タオル、ハンカチ、下着などはできるだけ煮沸し、乾燥させます。
- ・患者さんの使っている目薬を、他の人が使うことがないようにして下さい。
- ・入浴や洗髪はシャワー程度にとどめるのがベターですが、浴槽に入浴する場合は家族の中で最後に入り、その残り湯は洗濯などに使い回さないようにして下さい。

### 後遺症と合併症への注意

目の充血、目やに、涙、まぶたの腫れなどの症状は、ウイルスの種類によって異なりますがおよそ1〜3週間くらいで回復してきます。しかし、治ったかどうかは、必ず医師の診断にまかせなければなりません。

また、結膜炎の症状が治まってきた頃に、黒目（角膜）の表面に小さな点状の濁りが出てくることがあります。おおかたの症状が改善したからといって、この時に治療をやめてしまうと、黒目にこりが残って視力が落ちてくることがありますので、医師が良いと言うまでは点眼などの治療を続けるようにして下さい。

### やわらかい目…

大切な「目」を守り、周りの方にも「はやり目」を流行させないために、結膜炎の症状が疑われた時には、早めに眼科を受診し医師の指導を受けるようにしましょう。



※当番医は変更になる場合があります。確認してからお出かけください。

## 日曜・休日に実施している医療機関

午前10時～午後4時

月日	場所	施設名	科目	電話(048)	場所	施設名	科目	電話(048)	
6	4	志木	かまた内科クリニック	内・消内・糖内	472-7070	朝霞	根本整形外科	整外	467-4154
	11	朝霞	ファミリータイズクリニック	小・アレ	458-5522	志木	志木大腸肛門クリニック	肛外・消内	423-8768
	18	朝霞	新谷医院	内・消内・呼内・循内	461-3238	新座	田中内科医院	内・外・循内・消内	477-3536
	25	新座	野火止クリニック	内・小・循内	479-5698	朝霞	所医院	内	463-1316